



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年2月2日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 東  
 コード番号 4528 URL <http://www.ono.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相良 暁  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 谷 幸雄 (TEL) (06) 6263-5670  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	112,419	4.8	22,324	35.5	25,112	26.8	19,283	21.8	19,181	22.1	27,208	△13.0
27年3月期第3四半期	107,267	△3.7	16,474	△35.6	19,799	△31.0	15,825	△21.0	15,708	△21.0	31,258	△1.8
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
28年3月期第3四半期	180.95		180.94									
27年3月期第3四半期	148.17		—									

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	531,365	483,313	478,550	90.1
27年3月期	524,588	475,213	470,575	89.7

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
28年3月期	—	90.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	14.9	24,000	62.2	26,500	44.8	18,800	42.3	18,600	43.3	175.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期3Q	117,847,500株	27年3月期	117,847,500株
28年3月期3Q	11,842,116株	27年3月期	11,839,742株
28年3月期3Q	106,006,834株	27年3月期3Q	106,010,047株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	5
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(報告企業) .....	12
(作成の基礎) .....	12
(重要な会計方針) .....	12
(重要な会計上の見積りおよび見積りを伴う判断) .....	12
(配当) .....	13
(1株当たり利益) .....	13
(後発事象) .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
4. 補足情報 .....	15
(1) 主な製品の売上収益の実績と予想 .....	15
(2) 製品商品売上収益の地域別内訳およびロイヤルティ・その他の営業収益 .....	15
(3) 退職給付制度の改定の影響を除いた 2016年3月期第3四半期連結累計期間の業績 .....	16
(4) 開発品(ON0-4538を除く)の主な進捗状況 .....	17
(5) 開発品(ON0-4538など)の主な進捗状況 .....	19

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期（2015年4月～12月）における業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2015年3月期 第3四半期連結累計期間	2016年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上収益	107,267	112,419	5,152	4.8%
営業利益	16,474	22,324	5,850	35.5%
税引前四半期利益	19,799	25,112	5,313	26.8%
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	15,708	19,181	3,474	22.1%

## [売上収益]

売上収益は前年同期比52億円（4.8%）増加の1,124億円となりました。

- ・長期収載品が競合品や後発品使用促進策の影響を受けて減少となったものの、主要新製品についてはおおむね堅調に伸長しました。
- ・主要新製品では、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は253億円（前年同期比2.3%増）、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」は88億円（同比11.7%増）、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」、「プロイメンド点滴静注用」は合わせて73億円（同比9.6%増）、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は61億円（同比16.6%増）、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は60億円（同比107.7%増）となりました。

また、2014年9月に抗PD-1モノクローナル抗体として世界に先駆けて発売しました抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、2015年12月に「切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌」に対する効能追加を受けたことにより57億円（前年同期比288.2%増）、2014年5月に発売しました2型糖尿病治療剤「フォシーガ錠」は30億円（同比123.2%増）となりました。

- ・主な長期収載品では、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は181億円（前年同期比7.8%減）、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」は65億円（同比10.2%減）、慢性膵炎・術後逆流性食道炎治療剤「フオイパン錠」は42億円（同比14.0%減）となりました。

## [営業利益]

営業利益は前年同期比59億円（35.5%）増加の223億円となりました。

- ・当第1四半期において、退職給付制度改定に伴う過去勤務費用の影響で人件費が63億円減少しており、営業利益の増加要因となっております。
- ・売上原価は前年同期比32億円（12.1%）増加の300億円となりました。
- ・研究開発費は、オプジーボ関連の治験費用が大きく増加していますが、退職給付制度改定に伴う過去勤務費用の影響もあり、前年同期比6億円（2.0%）減少の294億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、がん専門MRの増員による人件費やオプジーボの肺癌承認に伴う営業経費が増加した一方、退職給付制度改定に伴う過去勤務費用の影響もあり、前年同期比21億円（6.5%）減少の304億円となりました。

## [四半期利益（親会社所有者帰属）]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益の増加にともない、前年同期比35億円（22.1%）増加の192億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、資本およびキャッシュ・フローの状況に関する分析)

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	2015年3月期 連結会計年度末	2016年3月期 第3四半期連結会計期間末	増減額
資産合計	524,588	531,365	6,776
親会社所有者帰属持分	470,575	478,550	7,975
親会社所有者帰属持分比率	89.7%	90.1%	
1株当たり親会社 所有者帰属持分	4,439.07円	4,514.40円	

資産合計は前期末に比べ68億円増の5,314億円となりました。

流動資産は現金及び現金同等物や棚卸資産の減少などがあったものの、売上債権及びその他の債権の増加などから47億円増の2,026億円となりました。

非流動資産は投資有価証券の減少などがあったものの、有形固定資産や無形資産の増加などから21億円増の3,288億円となりました。

負債は仕入債務及びその他の債務や繰延税金負債などの増加などがあったものの、未払法人所得税や退職給付に係る負債の減少などから13億円減の481億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分はその他の資本の構成要素の増加があったことなどから80億円増の4,786億円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	2015年3月期 第3四半期連結累計期間	2016年3月期 第3四半期連結累計期間	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	104,898	104,222	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,121	5,258	△1,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,948	10,110	20,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,617	△18,446	171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△21,444	△3,078	
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響額	119	△40	
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,572	101,105	

当第3四半期の現金及び現金同等物の増減額は、31億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権及びその他の債権の増加額116億円、法人所得税等の支払額99億円、退職給付に係る負債の減少額60億円などがあった一方で、税引前四半期利益251億円、減価償却費及び償却費49億円、棚卸資産の減少額30億円などがあった結果、53億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形資産の取得による支出58億円、有形固定資産の取得による支出57億円などがあった一方で、投資の売却及び償還による収入221億円があった結果、101億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いから184億円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の予想について、2015年11月4日に公表した業績予想を、下記のとおり修正します。

## 2016年3月期通期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	144,500	15,200	17,800	13,300	13,100	123.58円
今回修正予想(B)	156,000	24,000	26,500	18,800	18,600	175.46円
増減額(B-A)	11,500	8,800	8,700	5,500	5,500	
増減率(%)	8.0	57.9	48.9	41.4	42.0	
(ご参考)前期実績 (2015年3月期)	135,775	14,794	18,305	13,216	12,976	122.40円

2016年3月期の連結業績予想につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	104,222	101,105
売上債権及びその他の債権	41,960	53,505
有価証券	22,746	20,631
その他の金融資産	820	800
棚卸資産	25,805	22,842
その他の流動資産	2,311	3,686
流動資産合計	197,865	202,569
非流動資産		
有形固定資産	70,754	74,305
無形資産	33,913	37,385
投資有価証券	212,162	206,573
持分法で会計処理 されている投資	1,023	984
その他の金融資産	6,314	6,686
繰延税金資産	45	104
退職給付に係る資産	—	320
その他の非流動資産	2,512	2,438
非流動資産合計	326,723	328,795
資産合計	524,588	531,365



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	13,745	16,549
借入金	287	393
その他の金融負債	2,585	5,190
未払法人所得税	6,587	3,318
引当金	684	1,059
その他の流動負債	11,109	7,639
流動負債合計	34,997	34,149
非流動負債		
借入金	317	489
その他の金融負債	21	21
退職給付に係る負債	5,426	2,158
引当金	89	97
繰延税金負債	1,156	4,315
長期前受収益	6,724	6,198
その他の非流動負債	645	626
非流動負債合計	14,378	13,903
負債合計	49,375	48,052
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,080	17,095
自己株式	△59,308	△59,348
その他の資本の構成要素	45,756	54,654
利益剰余金	449,690	448,791
親会社の所有者に 帰属する持分	470,575	478,550
非支配持分	4,638	4,763
資本合計	475,213	483,313
負債及び資本合計	524,588	531,365

## (2) 要約四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
売上収益	107,267	112,419
売上原価	△26,753	△29,981
売上総利益	80,513	82,438
販売費及び一般管理費	△32,510	△30,391
研究開発費	△29,995	△29,400
その他の収益	335	341
その他の費用	△1,869	△664
営業利益	16,474	22,324
金融収益	3,367	3,081
金融費用	△55	△257
持分法による投資損益	12	△37
税引前四半期利益	19,799	25,112
法人所得税	△3,974	△5,829
四半期利益	15,825	19,283
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	15,708	19,181
非支配持分	118	101
四半期利益	15,825	19,283
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	148.17	180.95
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	180.94

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
四半期利益	15,825	19,283
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	14,522	9,662
確定給付制度の再測定	379	△1,704
持分法適用会社のその他の包括利益を 通じて測定する金融資産の公正価値の 純変動に対する持分	△4	△1
純損益に振り替えられることのない 項目合計	14,898	7,957
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	563	△32
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	△28	—
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	535	△32
その他の包括利益合計	15,432	7,925
四半期包括利益合計	31,258	27,208
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	31,148	27,080
非支配持分	110	128
四半期包括利益合計	31,258	27,208

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	
2014年4月1日現在残高	17,358	17,080	△59,274	15,626	456,537	447,327	4,397	451,724
四半期利益					15,708	15,708	118	15,825
その他の包括利益				15,440		15,440	△8	15,432
四半期包括利益合計	—	—	—	15,440	15,708	31,148	110	31,258
自己株式の取得			△23			△23		△23
剰余金の配当					△19,082	△19,082	△4	△19,086
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				△277	277	—		—
所有者との取引額等合計	—	—	△23	△277	△18,805	△19,105	△4	△19,109
2014年12月31日現在残高	17,358	17,080	△59,297	30,789	453,440	459,370	4,503	463,873

当第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配 持分	
2015年4月1日現在残高	17,358	17,080	△59,308	45,756	449,690	470,575	4,638	475,213
四半期利益					19,181	19,181	101	19,283
その他の包括利益				7,899		7,899	26	7,925
四半期包括利益合計	—	—	—	7,899	19,181	27,080	128	27,208
自己株式の取得			△40			△40		△40
剰余金の配当					△19,081	△19,081	△3	△19,084
株式報酬取引		16				16		16
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				999	△999	—		—
所有者との取引額等合計	—	16	△40	999	△20,080	△19,105	△3	△19,108
2015年12月31日現在残高	17,358	17,095	△59,348	54,654	448,791	478,550	4,763	483,313

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	19,799	25,112
減価償却費及び償却費	4,478	4,857
減損損失	559	1,182
受取利息及び受取配当金	△2,397	△2,668
支払利息	10	9
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,091	2,959
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△15,812	△11,553
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,646	1,940
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	385	△6,013
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	812	△87
長期前受収益の増減額(△は減少)	—	△526
その他	△1,086	△2,722
小計	9,303	12,491
利息の受取額	351	242
配当金の受取額	2,093	2,456
利息の支払額	△10	△9
法人所得税等の支払額	△4,615	△9,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,121	5,258
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,109	△5,700
無形資産の取得による支出	△13,420	△5,811
投資の取得による支出	△1,036	△250
投資の売却及び償還による収入	16,814	22,079
その他	△197	△208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,948	10,110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△18,174	△18,223
非支配持分への配当金の支払額	△4	△3
長期借入金の返済による支出	△372	△274
短期借入金の純増減額	△45	92
自己株式の取得による支出	△22	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,617	△18,446
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△21,444	△3,078
現金及び現金同等物の期首残高	104,898	104,222
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響額	119	△40
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,572	101,105

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

### (報告企業)

小野薬品工業株式会社(以下、当社)は日本国籍の株式会社であります。当社の登記している本社および主要な事業所の住所はホームページ(URL <http://www.ono.co.jp/>)で開示しております。

当社グループの要約四半期連結財務諸表は2015年12月31日を期末日とし、当社および子会社、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。当社グループは、医療用、一般用医薬品の製造・販売を行っております。

### (作成の基礎)

#### (1) 準拠する会計基準

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、四半期連結財務諸表規則第1条の2に掲げる「特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IFRSに準拠して作成しております。

要約四半期連結財務諸表はIAS第34号に準拠して作成しており、年度の連結財務諸表で要求される全ての情報を含んでおりません。要約四半期連結財務諸表は、2015年3月31日に終了した前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものであります。

#### (2) 測定の基礎

要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定している金融商品などを除き、取得原価を基礎として作成しております。

#### (3) 機能通貨および表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、特に注釈のない限り、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

### (重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

### (重要な会計上の見積りおよび見積りを伴う判断)

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、収益および費用、資産および負債の測定に関する経営者の見積りおよび仮定を含んでおります。これらの見積りおよび仮定は過去の実績および四半期決算日において合理的であると考えられる様々な要因などを勘案した経営者の最善の判断に基づいております。しかし、その性質上、将来において、これらの見積りおよび仮定とは異なる結果となる可能性があります。

見積りおよびその基礎となる仮定は経営者により継続して見直されております。これらの見積りおよび仮定の見直しによる影響は、その見積りおよび仮定を見直した期間およびそれ以降の期間において認識しております。

当社グループの要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える見積りおよび仮定は、原則として前連結会計年度と同様であります。

(配当)

(1) 配当金支払額

前第3四半期連結累計期間

決議日	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2014年6月27日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	2014年3月31日	2014年6月30日
2014年11月5日 取締役会	普通株式	9,541	90	2014年9月30日	2014年12月1日

当第3四半期連結累計期間

決議日	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2015年6月26日 定時株主総会	普通株式	9,541	90	2015年3月31日	2015年6月29日
2015年11月4日 取締役会	普通株式	9,541	90	2015年9月30日	2015年12月1日

- (2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

前第3四半期連結累計期間

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間

該当事項はありません。

(1株当たり利益)

(1) 基本的1株当たり四半期利益

①基本的1株当たり四半期利益

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
基本的1株当たり四半期利益	148.17円	180.95円

②基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	15,708百万円	19,181百万円
発行済普通株式の 加重平均株式数	106,010千株	106,006千株

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益

①希薄化後1株当たり四半期利益

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
希薄化後1株当たり四半期利益	—	180.94円

②希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	—	19,181百万円
発行済普通株式の 加重平均株式数	—	106,006千株
新株予約権による普通株式増加数	—	1千株
希薄化後の 加重平均株式数	—	106,008千株

(注) 希薄化後1株当たり四半期利益については、前第3四半期連結累計期間は希薄化効果を有する株式が存在しないため記載しておりません。

(後発事象)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。



4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益の実績と予想

(単位：億円)

製品名	2016年3月期 第3四半期累計 実績						2016年3月期 通期予想					
	累 計 実 績				前年同期比		前回予想	前回予想 からの 修正額	修正 予想	前期比		
	4~6月	7~9月	10~12月		増減額	増減率				増減額	増減率	
グラクティブ錠	82	78	93	253	+6	+2.3%	320		320	+12	+4.0%	
オパールモン錠	62	57	62	181	△15	△7.8%	225		225	△23	△9.4%	
オブジーボ点滴静注	14	16	27	57	+42	+288.2%	55	+120	175	+150	+595.8%	
リカルボン錠	29	28	31	88	+9	+11.7%	110		110	+7	+7.0%	
イメンド/プロイメンド	24	23	26	73	+6	+9.6%	95		95	+9	+10.5%	
オノンカプセル	22	19	24	65	△7	△10.2%	90		90	△12	△12.1%	
リバスタッチパッチ	20	19	22	61	+9	+16.6%	85		85	+17	+25.4%	
オレンシア皮下注	18	19	23	60	+31	+107.7%	80		80	+39	+93.3%	
オノアクト点滴静注用	14	14	18	46	+9	+23.0%	50	+10	60	+13	+28.7%	
オノドライシロップ	13	12	18	43	△0	△0.8%	55		55	△3	△5.0%	
フオイパン錠	15	13	14	42	△7	△14.0%	50		50	△11	△17.6%	
フォシーガ錠	8	8	14	30	+17	+123.2%	45		45	+30	+192.0%	
ステーブラ錠	14	12	14	40	△0	△0.3%	45		45	△8	△14.5%	
キネダック錠	12	10	11	33	△7	△17.8%	45		45	△3	△5.9%	
注射用エラスポール	5	4	5	14	△8	△35.4%	20		20	△7	△25.3%	

(注) 仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。

(2) 製品商品売上収益の地域別内訳およびロイヤルティ・その他の営業収益

(単位：億円)

	2015年3月期 第3四半期連結累計	2016年3月期 第3四半期連結累計
製品商品売上収益		
日本	958	1,021
欧州	3	2
アジア	10	17
その他	—	2
小計	971	1,041
ロイヤルティ・その他の営業収益	102	83
合計	1,073	1,124

(注) 製品商品売上収益は販売仕向先の所在地によっております。

## (3) 退職給付制度の改定の影響を除いた2016年3月期第3四半期連結累計期間の業績

2015年4月に退職給付制度の改定に関する労使の合意がなされたため、当第1四半期連結会計期間において、改定後の退職給付制度に基づく退職給付債務の数理計算および過去勤務費用の算定を行いました。その結果、当第1四半期連結会計期間において、退職給付制度改定に伴う過去勤務費用の影響で人件費が減少したことから、営業利益が63億円増加しております。この影響を除いた当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりであります。

(単位：億円)

損益の状況	2015年3月期 第3四半期 連結累計期間	2016年3月期 第3四半期 連結累計期間		2016年3月期 第3四半期 連結累計期間	
	実績	実績	前年 同期比 (%)	退職給付制度の 改定の影響を 除いた場合の業績	前年 同期比 (%)
売上収益	1,073	1,124	4.8	1,124	4.8
売上原価	268	300	12.1	304	13.7
売上総利益	805	824	2.4	820	1.9
販売費及び一般管理費	325	304	△6.5	340	4.7
研究開発費	300	294	△2.0	316	5.4
営業利益	165	223	35.5	160	△2.7
税引前四半期利益	198	251	26.8	188	△5.0
法人所得税	40	58	46.7	44	10.2
四半期利益	158	193	21.8	144	△8.8
うち、親会社の所有者に 帰属する当期利益	157	192	22.1	143	△8.8

(4) 開発品 (ONO-4538を除く) の主な進捗状況

平成28年1月28日現在

1. 国内開発品状況

<申請中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	自社*)／導入
プロイメンド点滴静注用 (ONO-7847) /MK-0517	小児での 効能追加	抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐 ／ニューロキニン1受容体拮抗作用	注射	導入 (米メルク社)
ONO-7057 /カルフィルゾミブ	新有効成分	多発性骨髄腫 ／プロテアソーム阻害作用	注射	導入 (オニキス社)
ONO-5163 <sup>*1</sup> /AMG-416/エテルカルセチド 塩酸塩	新有効成分	二次性副甲状腺機能亢進症 ／カルシウム受容体作動作用	注射	導入 (アムジェン社)

平成28年3月期第2四半期決算発表 (11月4日) 時点からの変更点

※1: カルシウム受容体作動薬「ONO-5163/AMG-416/エテルカルセチド塩酸塩」は、「血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症」を効能・効果とした製造販売承認申請を行いました。

\*) : 共同研究により創出された化合物を含む

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	自社*)／導入
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) /BMS-188667	効能追加	若年性特発性関節炎 ／T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリistol・マイヤ ーズ スクイブ社)
オレンシア点滴静注用 (ONO-4164) /BMS-188667	効能追加	ループス腎炎 ／T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリistol・マイヤ ーズ スクイブ社)
オレンシア皮下注 (ONO-4164) /BMS-188667	効能追加	未治療の関節リウマチ ／T細胞活性化抑制作用	注射	Ⅲ	導入 (ブリistol・マイヤ ーズ スクイブ社)
ONO-7057 /カルフィルゾミブ	用法変更	多発性骨髄腫 ／プロテアソーム阻害作用	注射	Ⅲ	導入 (オニキス社)
ONO-1162 /Ivabradine	新有効成分	慢性心不全／I f チャネル阻害作用	錠	Ⅲ	導入 (セルヴィエ社)
オノアクト点滴静注用 50mg/150mg (ONO-1101)	小児での 効能追加	心機能低下例における頻脈性不整脈 ／β <sub>1</sub> 遮断作用 (短時間作用型)	注射	Ⅱ/Ⅲ	自社
オノアクト点滴静注用 50mg/150mg (ONO-1101)	効能追加	心室性不整脈 ／β <sub>1</sub> 遮断作用 (短時間作用型)	注射	Ⅱ/Ⅲ	自社
ONO-7643 /RC-1291	新有効成分	がん悪液質／グレリン様作用	錠	Ⅱ	導入 (ヘルシン社)
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	錠	Ⅱ	自社
ONO-2370 <sup>*2</sup> /Opicapone	新有効成分	パーキンソン病 ／長時間作用型COMT阻害作用	錠	Ⅱ	導入 (ビアル社)
ONO-5371 /Metyrosine	新有効成分	褐色細胞腫／チロシン水酸化酵素阻害作用	カプセル	Ⅰ/Ⅱ	導入 (バリアント社)
ONO-7268MX1	新有効成分	肝細胞がん／ペプチドワクチン	注射	Ⅰ	導入 (オンコセラビー・ サイエンス株式会社)

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	自社 <sup>*)</sup> ／導入
ONO-7268MX2	新有効成分	肝細胞がん／ペプチドワクチン	注射	I	導入 (オンコセラピー・サイエンス株式会社)
ONO-2160/CD	新有効成分	パーキンソン病 ／レボドパプロドレッジ	錠	I	自社
ONO-4059	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	カプセル	I	自社

平成28年3月期第2四半期決算発表(11月4日)時点からの変更点

※2:長時間作用型COMT阻害薬「ONO-2370/Opicapone」は、パーキンソン病を対象としたフェーズII試験を開始しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しております。

## 2. 国外開発品状況

### <臨床試験中開発品>

製品名／開発コード	区分	予定効能／薬理作用	剤型	フェーズ	地域	自社 <sup>*)</sup> ／導入
ONO-6950	新有効成分	気管支喘息 ／ロイコトリエン受容体拮抗作用	錠	II	米国	自社
ONO-2952	新有効成分	過敏性腸症候群／TSPO (トランスロケータープロテイン) 拮抗作用	錠	II	米国	自社
ONO-9054	新有効成分	緑内障・高眼圧症／プロスタグランジン 受容体(FP/EP3)作用	点眼	II	米国	自社
ONO-4059	新有効成分	B細胞リンパ腫 ／Bruton's tyrosine kinase (Btk) 阻害作用	カプセル	I	欧米	自社
ONO-8055	新有効成分	低活動膀胱／プロスタグランジン受容体 (EP2/EP3)作用	錠	I	欧州	自社
ONO-1266	新有効成分	門脈圧亢進症／S1P受容体拮抗作用	カプセル	I	米国	自社
ONO-4232	新有効成分	急性心不全／プロスタグランジン受容体 (EP4)作用	注射	I	米国	自社
ONO-4474	新有効成分	変形性関節症／Tropomyosin receptor kinase (Trk)阻害作用	カプセル	I	欧州	自社

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能(がん腫)の場合は、最も進んでいるフェーズ(臨床ステージ)を記載しております。

(5) 開発品 (ONO-4538など) の主な進捗状況

平成28年1月28日現在

1. 日本、韓国、台湾の開発品状況 (ONO-4538を含むBMS提携化合物)

<承認取得開発品>

製品名/開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*</sup> /導入
オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	非小細胞肺癌 <sup>※1</sup>	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成28年3月期第2四半期決算発表 (11月4日) 時点からの変更点

※1:「オブジーボ点滴静注」は、日本において「切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌」を効能・効果とした製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。

<申請中開発品>

製品名/開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*</sup> /導入
オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	悪性黒色腫	台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	非小細胞肺癌	韓国、台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	腎細胞がん <sup>※2</sup>	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成28年3月期第2四半期決算発表 (11月4日) 時点からの変更点

※2:「オブジーボ点滴静注」は、日本において「根治切除不能又は転移性の腎細胞がん」を効能・効果とした製造販売承認事項一部変更承認申請を行いました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード	予定効能	フェーズ	地域	自社 <sup>*</sup> / 導入
オブジーボ点滴静注 (ONO-4538) / BMS-936558	頭頸部がん	Ⅲ	日本、韓国、 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	胃がん	Ⅲ	日本、韓国、 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	食道がん	Ⅲ	日本、韓国、 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	小細胞肺がん	Ⅲ	日本、韓国、 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	肝細胞がん <sup>※3</sup>	Ⅲ	日本、韓国、 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	膠芽腫 <sup>※4</sup>	Ⅲ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	卵巣がん	Ⅱ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	ホジキンリンパ腫	Ⅱ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	尿路上皮がん	Ⅱ	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	ウイルス陽性・陰性固形がん	I / II	日本、韓国、 台湾	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社との共同開発)
	胆道がん	I	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社との共同開発)
	固形がん (モガムリズマブとの併用)	I	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と協和発酵キリン 社との共同開発)
	固形がん (Urelumabとの併用)	I	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社との共同開発)
	固形がん (LAG3免疫チェックポイント阻 害剤との併用)	I	日本	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社との共同開発)

平成28年3月期第2四半期決算発表（11月4日）時点からの変更点

※3：「オブジーボ点滴静注」は、肝細胞がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

※4：「オブジーボ点滴静注」は、膠芽腫を対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

**\*): 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

2. 欧米の開発品状況 (ON0-4538)

<承認取得開発品>

製品名／開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*)</sup> /導入
オブジーボ点滴静注 (ON0-4538) /BMS-936558	腎細胞がん <sup>※1</sup>	米国	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成28年3月期第2四半期決算発表（11月4日）時点からの変更点

※1:「オブジーボ点滴静注」は、米国において「血管新生抑制の治療歴を有する進行期腎細胞がん」を効能・効果に係る製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

<申請中開発品>

製品名／開発コード	予定効能	地域	自社 <sup>*)</sup> /導入
オブジーボ点滴静注 (ON0-4538) /BMS-936558	非小細胞肺癌（非扁平上皮がん）	欧州	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	悪性黒色腫（併用）	欧州	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	腎細胞がん <sup>※2</sup>	欧州	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

平成28年3月期第2四半期決算発表（11月4日）時点からの変更点

※2:「オブジーボ点滴静注」は、欧州において「治療歴を有する進行期腎細胞がん」を効能・効果とした製造販売承認事項一部変更承認申請を行いました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

<臨床試験中開発品>

製品名／開発コード	予定効能	フェーズ	地域	自社 <sup>*)</sup> /導入
オプジーボ点滴静注 (ONO-4538) /BMS-936558	頭頸部がん	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	膠芽腫	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	小細胞肺がん	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	尿路上皮がん <sup>※3</sup>	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	肝細胞がん <sup>※4</sup>	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	食道がん <sup>※5</sup>	Ⅲ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	濾胞性リンパ腫	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	ホジキンリンパ腫	Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	大腸がん	I / Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	固形がん (トリプルネガティブ乳がん、 胃がん、膵がん、小細胞肺がん、尿路上 皮がん、卵巣がん)	I / Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	ウィルス陽性・陰性固形がん	I / Ⅱ	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社との共同開発)
	血液がん (T細胞リンパ腫、多発性骨髄 腫、慢性白血病、他)	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	慢性骨髄性白血病	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
C型肝炎	I	欧米	自社 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)	

平成28年3月期第2四半期決算発表 (11月4日) 時点からの変更点

※3:「オプジーボ点滴静注」は、尿路上皮がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

※4:「オプジーボ点滴静注」は、肝細胞がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

※5:「オプジーボ点滴静注」は、食道がんを対象としたフェーズⅢ試験を開始しました。

**\*) : 共同研究により創出された化合物を含む**

なお、抗がん剤において、同じ予定効能 (がん腫) の場合は、最も進んでいるフェーズ (臨床ステージ) を記載しております。